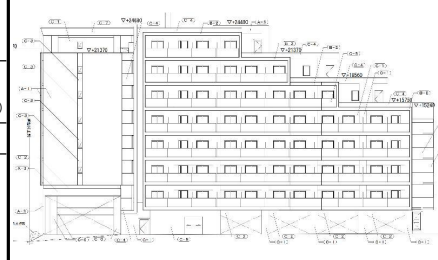


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊中市桜の町計画	階数	地上8F
建設地	大阪府豊中市桜の町	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、第一種中高層住居	平均居住人員	214人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年10月23日
敷地面積	2,181 m ²	作成者	アクセス都市設計 湯浅 勝也
建築面積	985 m ²	確認日	2023年10月23日
延床面積	6,116 m ²	確認者	アクセス都市設計 湯浅 勝也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	3.6
温熱環境	2.8
光・視環境	3.2
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	3.0
耐用性	2.9
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.0
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.1
地域環境	2.9
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	遮音性能等の室内環境に配慮するとともに、省エネルギーかつ環境にも配慮し計画をした。	その他 特になし。
Q1 室内環境	開口部遮音にT-2以上の性能を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 地域性・アメニティへの配慮に関して標準的な取り組みを行った。
LR1 エネルギー	BEI 1以下となるよう配慮した。	LR3 敷地外環境 駐車、駐輪スペースの適切な量と場所を確保している。
Q2 サービス性能	給排水配管に耐用年数を長いものを採用している。	
LR2 資源・マテリアル	断熱材にODP=0かつGWP=50未満を採用し環境負荷を配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

【建物概要】	建物名称	(仮称)豊中市桜の町計画							
	建設地	大阪府豊中市桜の町							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B+				
①	CO2削減				3				
②	みどり・ヒート アイランド対策				3				
③	建物の断熱性				3				
④	エネルギー削減				4				
⑤	自然エネルギー直接利用				○				
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.6	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		